

2. 景観づくりの目標

岡山市の景観は、広大な市域の中で、起伏に富んだ豊かな自然や先人が築いた歴史・文化を背景に、多様で個性ある姿を見せており、良好な景観資源を数多く抱え、日本の景観の縮図ともいえます。

このような貴重な岡山市の景観は、私たちが地域らしさを感じ、愛着をもって後世に伝えていきたいと願う、いわば「原風景」とも呼ぶことができるものです。

このような視点から岡山市の景観の特徴をまとめると、次の5つの「原風景」が調和し、魅力ある景観が形成されていると言えます。



《緑の原風景》

市街地の北部・南部を取り囲み、背景となっている緑をはじめ、身近な里山や市街地内の緑が岡山市の景観を特徴づけています。



《水の原風景》

旭川・吉井川・笹ヶ瀬川の三大河川やその支流、農業用水路などが豊かな水をたたえ、岡山を象徴する景観となっています。



《農の原風景》

水田と農家集落が織りなす田園景観をはじめ、山間部の棚田、特産の果樹園、広大な干拓地など、自然と暮らしが一体となった特徴ある農の景観が展開しています。



《歴史の原風景》

岡山城・後楽園の城下町を代表する景観や歴史のロマンを感じさせる吉備路の景観、地域に残る歴史・文化的遺構は岡山の個性を際立たせるシンボルとなっています。



《都(まち)の原風景》

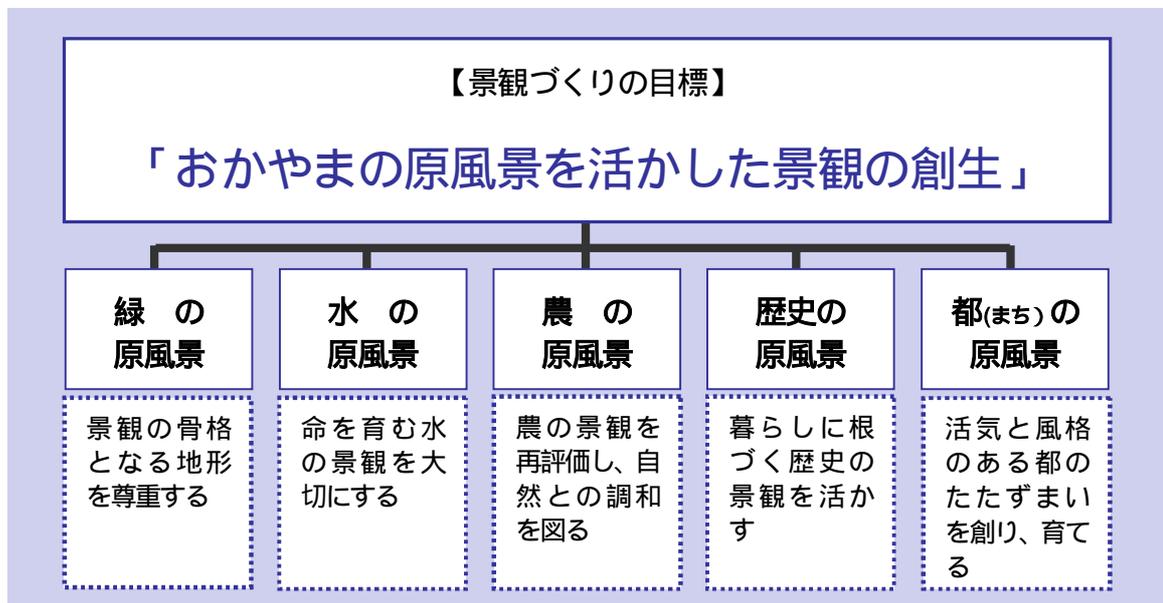
都(まち)は人々が幾世代にもわたり営々と築き上げた空間であり、都市活動の場、集住の場として活気に満ちています。風格と賑わい、うるおいと人間味あふれる都市景観を形成します。



良好な景観は、地域の自然、歴史、文化等とそこに暮らす人々の営み、社会・経済活動等が調和することによって生み出されます。すなわち、景観とは単に物の見え方にとどまらず自然的要素と人工的要素が織りなす「環境調和の象徴」であり、私たちの暮らす地域社会の健康性、文化性、快適性を表す重要な環境尺度であると言えます。

岡山市においては、固有の自然・風土や、長い時間をかけて積み上げられてきた人々の営みによって、数多くのすばらしい景観＝「原風景」が形成され、受け継がれてきましたが、都市化の過程の中で見失ったものも多くあります。21世紀という新しい時代を迎え、地方分権の推進、個性ある地域づくりが求められる中で、これまで創りあげられた「原風景」にみがきをかけ、新たな時代に対応した魅力ある「景観」を創造し、未来に引き継いでいくことは、今の時代を生きる岡山市民一人一人に課せられた役割であると言えます。

このような基本的な考え方に基づいて、岡山市において、市・市民・事業者等がともに目指すべき景観づくりの目標を次のとおり設定します。



岡山の歴史・文化・人を育んできた多様な自然や風土に着目しながら、いつまでも心に残る「おかやまの原風景」を守り、育て、再生し、五感に訴える美しい岡山固有の景観を創造します。

原風景とは・・・おかやまの風土(地形、歴史、文化等)に生まれ、長い時間をかけて形成された五感に響く心地よい風景であり、岡山市民が愛着と親しみをもって未来へ引継ぎたいと願う岡山固有の風景です。特に都(まち)の原風景とは、多世代の営みの中で創られた活気に満ちた空間であり、風景の重要な要素です。

活かすとは・・・魅力ある景観づくりにおいて、おかやまの特徴ある5つの原風景の要素を巧みに取り入れることです。

創生とは・・・これまで先人によって創り出され育てられた景観を受け継ぎつつ、未来への贈物として今の時代にふさわしい魅力ある景観を創り出していくこと(創生)が、岡山市民に課せられた役割であるという認識から、未来に向けた取組み姿勢を「創生」というキーワードで示しています。

おかやまの原風景の活かし方（例示）

ここでは、景観づくりの目標である「おかやまの原風景を活かした景観の創生」の実現に向け、5つの原風景の要素の活かし方を例示します。

原風景	原風景を構成する要素	活かし方	活かし方の例示
緑の原風景	山・谷などの自然地形 森、林、独立樹 里山 スカイライン 視点場	緑の骨格となる地形を尊重する	<ul style="list-style-type: none"> ・地形に沿った開発を行う ・山並みの稜線を守る ・眺望点を確保する ・シンボリックな樹木を保全する ・街中に緑のネットワークを創る ・アイストップとなる緑を活用したビスタ景観を保全する
水の原風景	川、水路、堀 ため池、海、湖水郷	命を育む水の景観を大切にす	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺に近づく親水空間、アメニティ空間を創出する ・水辺の自然環境を保全する ・水の清らかさと生態系を取り戻す ・水辺の風景になじむ素材の活用
農の原風景	田畑、棚田 果樹園 干拓地	農の景観を再評価し、自然との調和を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・農の自然とのつきあい方に学び、地形に沿った開発を行う ・農と集落、里山が一体となったのどかなふるさと景観を守る ・干拓地の広大な水平景観を守る
歴史の原風景	歴史的建造物 城址・史跡 神社、土木遺産 祭り	暮らしに根付く歴史の景観を活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化資源をまちづくりに取り入れる ・歴史的建造物を地域のシンボル景観として保全する ・祭りを再興する
都の原風景	歴史的街並み 商店街、住宅地 近代建築の街並み 街路	活気と風格ある都の佇まいを創り育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・水、緑、農、の代償景観を取り入れ、潤いある都市空間を創る ・ヒューマンスケール、賑わいのある街並みを創る ・ランドマーク、アイストップ効果を活かして街並みを創る